

KiKiの広場

2019年 10月 1日
cafe NO.108
KiKi



～ 9月に9周年を迎えた「**ヒストリア**宇部」と「**絵本 cafe KiKi**」からの大切なお知らせです ～

みなさまのおかげで今年10年目を迎えることができました。9年間の延べ利用者数は約40万人、利用日数利用率は95%を超えています。この度、消費税率が10%に引き上げられましたが、「**ヒストリア**宇部」の利用料と「**絵本 cafe KiKi**」のメニューの価格の変更はしないこととなりました。この機会に、指定管理者をスタートした原点に立ち返って、「**近くて、安くて、利用しやすい**」市民の為の公共施設の運営に、これまで以上に取り組んでいきたいと思えます。みなさま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「**今月のケーキ**」…「**かぼちゃと紫芋のモンブラン**」 **350円**

10月の予定

休館日	8 (火)	定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	7日(月)・14日(月)・21日(月)		
			24(木)・25(金)



かぼちゃと紫芋、2つの美味しさを一緒に楽しめるモンブランチョコをアクセントに加えた、濃厚かぼちゃホイップを中に閉じ込めてあります。ハロウィンにピッタリ！！

今月のお気に入り…「**秋を感じ、味わい、楽しむ絵本**」

～ 「**くいでろい**」「**かぼちゃぼたけのはたねずみ**」「**ぼぼぼあちゃんのやきいもたいかい**」「**14ひきのひっこし**」 などなど ～



「くいでろい」は中国の動物物語で、りすとのおねずみとうさぎが栗を見つけてそれをどうやって運ぶかというシンプルなお話です。初版は山田三郎さんの絵で1957年、復刻版が1989年に出されました。そして、1983年に蓬田(よもぎだ)やすひろさんの絵で新版が出ています。山田さんの絵は、鮮やかな色彩で動物たちの様子が生き生きと描かれています。横版になった蓬田さんの絵は、淡い色が基調で淡々としたりすたち動物の表情が新鮮です。絵でこんなに雰囲気が変わるんだなあ、見比べるのも面白いです。



今月の本欄…「**きつねが出てくる絵本**」

～ 「**きつねのおきゃくさま**」「**くずのはやまのきつね**」「**ずいどん先生と化けの玉**」「**きつね三吉**」「**かもときつね**」 などなど ～



現実にも近くの山林に住んでいたりするきつねですが、私は家の近くを散歩している時、溝から出られなくなったきつねを助けたことがあります。近くに山はなく普通の住宅地での出会いに驚きました。昔ばなしでは人を化かすいたずらものとしてよく登場しますが、絵本の中では、弱いものを守ったり、人間と同じように嫁入りをしたりと、いろいろなタイプのきつねが出てきます。「**きつねのおきゃくさま**」は、人を信じること、人から信じられることの喜び、素晴らしさを教えてくれます。読むたびにラストで涙が出そうになりますが、お話の最後の言葉「とっぴんばらりのふう」という昔ばなしの結句に、悲しいお話ではないんだよというメッセージを感じ、いつもホッとさせられます。「**くずのはやまのきつね**」は、きつねの嫁入りがあると豊作になるといふ言い伝えがある村でのお話です。1年かけた米づくりの様子、金色に実った稲穂や幻想的なきつねの嫁入りのシーンがとても美しく、豊作を願い懸命に働く村人の思いや収穫の喜びが伝わってくる絵本です。



ほっとフレイク

土日は定休日となっている KiKi ですが、先日部屋の予約がいっぱいで、カフェを交流室の代わりに利用してもらうということがありました。その中に小学校で読み聞かせをしているという方がおられて、絵本の話に花が咲きました。カフェにある絵本と児童書は全て、子どもにとっても大人にとっても、素敵な出会いがあるようにとの願いを込めて置いています。オープン当所から、たくさんの方にカフェの本を楽しんでもらいたいという想いがありましたが、営業時間や定休日のこともあって、なかなかそうもいかないのが現状です。



9周年を迎え、本だけでなく居場所としての土日のカフェの活用を、もっともっと、考えていきたいと思えます。固い頭を柔軟にして、いろいろな方の意見を聞きながら良い方向に向かっていけたらと思えます。みなさまどうぞよろしくお願いいたします。

